

令和8年度 市内企業等の宇宙産業参入支援等業務委託 仕様書

1 件名

令和8年度 市内企業等の宇宙産業参入支援等業務委託

2 業務目的

国においては、宇宙基本計画（令和5年6月改訂）において「宇宙産業を日本経済における成長産業とするため、その市場規模を、2020年に4.0兆円から2030年代早期に2倍の8.0兆円」を目指すという目標を掲げ、人工衛星やロケット等の宇宙機器産業の国際競争力の強化、衛星通信・データ提供等の宇宙利用産業の振興に取り組んでいる。

本市には、衛星開発や衛星データ活用を行う学術機関や、部品製造やデータ活用に強みを持つ、モノづくり企業やIT企業が集積するなど、将来的に衛星の企画・設計から製造までを一気通貫で取り組むポテンシャルを有していると考えられる。

本業務委託においては、本市が「小型衛星をはじめとした宇宙機器の開発・製造の拠点」や「衛星データ利活用ビジネス創出」等を目指す中で必要となる基盤づくりとして、北九州宇宙ビジネスネットワーク会員企業への支援を通じて、市内企業の宇宙産業参入や、宇宙関連スタートアップ輩出、宇宙関連企業の誘致につなげていくことを目的とする。

3 契約期間

契約締結の日から令和9年3月31日まで

4 業務内容

(1) 宇宙関連企業・大学とのマッチングや拠点化を見据えたニーズ等調査分析

①宇宙ビジネスネットワーク会員企業へのシーズ調査

宇宙ビジネスに関心のある企業が入会する「北九州宇宙ビジネスネットワーク」会員企業に対して、今後個別に支援を行っていく上で必要な調査を行う。（15社程度）

調査にあたっては、北九州宇宙ビジネスネットワークに企業が参加する際のアンケート調査の内容や、企業のホームページ情報のほか、必要に応じて勉強会の場等を活用してヒアリング等を行い、下記の＜調査の観点＞に従って、必要な情報を取得すること。

また、調査の結果、製品・サービスの事業化につながる可能性が高い企業に対しては、北九州産業学術推進機構（FAIS）で実施している宇宙関係補助事業の実施を問わず、(4)に記載のとおり伴走支援業務を行うこと。

＜調査の観点＞

㊦宇宙ビジネスの中で関心のある分野

㊧宇宙ビジネスに参入するうえで強みとなる当該企業が持つ技術シーズ等

㊨宇宙ビジネスに踏み出す上で必要な環境や情報、支援策

②宇宙関連企業・大学のニーズ調査

宇宙産業参入済み企業・大学側の宇宙機器開発・製造に関するニーズを

調査する。

調査にあたっては、北九州宇宙ビジネスネットワーク会員企業とのビジネスマッチングのほか、宇宙関連企業等の集積を目的として、下記の〈調査項目案〉に従って、必要な情報を取得すること。

併せて、過去の会員企業へのヒアリング結果や、市と意見交換を行って得られた情報を踏まえ、会員企業の業種や技術をまとめた資料を宇宙関連企業・大学に渡すなどの工夫を行うことで、会員企業の業種・技術・シーズに親和性が高いニーズを取得できるよう努めること。

〈調査項目案〉

㊦宇宙関連企業・大学から北九州宇宙ビジネスネットワーク会員企業に対する発注ニーズ（宇宙機器開発・製造関係）

㊧宇宙関連企業等が北九州市に拠点を置くうえで必要な条件（発注先企業の製造能力・人材確保のしやすさ・陸海空の物流のほか、宇宙に特化した施設等のインフラ）

㊨調査結果を踏まえた分析及び北九州市のポテンシャルを踏まえた施策検討
上記㊦㊧で実施した調査結果を分析・詳細化して解像度を高め、宇宙関連企業・大学と北九州宇宙ビジネスネットワーク会員企業とのビジネスマッチングが効果的に進むよう情報を整理すること。

また、宇宙関連企業・大学が北九州市に拠点を置く上で、何が足りていて何が足りないのか等を分析し、企業誘致を通じて宇宙産業サプライチェーンの構築を目指す上で必要な情報を整理すること。

併せて、以上の分析結果から、北九州市の宇宙産業振興におけるポテンシャルを踏まえ、北九州市として行うべき施策についても検討すること。

(2) 北九州宇宙ビジネスネットワーク会員企業等とのマッチング支援

①取得した発注ニーズに対応できる会員企業等のリストアップ

(1) ②③の調査・分析により取得したニーズに関しては、その都度市に共有するほか、月に1回程度開催する「宇宙関連企業・大学からの発注ニーズ対応企業リストアップ会議」に出席し、(3)の勉強会で得られたニーズと併せて共有すること。

同会議において、北九州市中小企業支援センターの巡回相談員等、北九州市域の企業に詳しい職員と連携して、取得したニーズに対応可能と思われる北九州宇宙ビジネスネットワーク会員企業や非会員企業（いずれも北九州市域企業を中心）のリストアップを行うこと。

②会員企業とのマッチング又は非会員企業の勧誘支援及びマッチング

①の会議においてリストアップされた北九州宇宙ビジネスネットワーク会員企業に対しての連絡・説明・訪問は、市が実施することを想定しているが、調査により取得したニーズについて詳細に説明が必要な場合は、必要に応じて同行すること。

リストアップされた非会員企業に対しての連絡・説明・訪問・入会勧誘は、北九州市中小企業支援センターの巡回相談員が実施することを想定しているが、調査により取得したニーズについて詳細に説明が必要な場合は、必要に応じて同行すること。

上記連絡・説明・訪問・入会勧誘を経て、会員企業及び非会員企業と、宇宙関連企業・大学とのマッチングを行うこと。

なお、連携する巡回相談員に対して、事前に宇宙産業に関する研修を実施すること。

(勧誘候補先企業の調査と訪問・面談にかかる北九州市中小企業支援センターの巡回相談員の人件費や管理費の負担は本業務に含まない)

(3) 北九州宇宙ビジネスネットワーク会員企業向け勉強会の実施（3回程度） （50人程度／回）

北九州宇宙ビジネスネットワークの会員企業向けに、宇宙ビジネスへの理解を深めるほか、講師の宇宙関連企業・大学と会員企業とのビジネスマッチング創出を目指す勉強会を実施する。

勉強会の実施にあたっては、勉強会の内容の企画、当日配布する資料の準備、当日の勉強会の運営（司会等）、講師の確保、講師への謝金・旅費支払い、会場の確保・会場代の支払い、勉強会の広報について、実施すること。また、会員企業間や会員企業と講師が繋がる機会創出のため、勉強会プログラムの中に交流会（ネットワーキング）も実施し、同費用を負担すること。

勉強会の内容については、「ものづくり」「衛星データ利活用」「産学連携」のテーマに従って、以下のコンセプトを踏まえた企画案を市に提案すること。また、昨年アンケート結果等、企業から得られた意見等を踏まえた上で、内容を企画するほか、講師選定にあたっては、(1)のニーズ等調査分析の内容も踏まえ、親和性の高い宇宙関連企業・大学等から講師を選定すること。

<コンセプト>

- ① 「ものづくり」「衛星データ利活用」テーマについては、宇宙産業参入済みの企業を講師として招き、会員企業とのマッチング機会を創出する。
- ② 「産学連携」テーマについては、北九州産業学術推進機構（FAIS）で実施している宇宙関係補助事業を行う企業や大学を講師として招き、会員企業とのマッチング機会を創出する。
- ③ 各講師には単なる自社の事業・研究紹介や発注ニーズにとどまらず、自社のパートナー企業に求めている納期や品質管理にも触れてもらうなど、(2)①のニーズ調査の観点も踏まえ、宇宙産業に参入していく上で必要な姿勢や体制等についても学べる構成とする。

<実施スケジュール案>

1回目：10月上旬開催

⇒11月10日～13日開催の宇宙科学技術連合講演会や、
11月30日～12月4日開催のNIHONBASHI SPACE WEEKに出展する場合は周知を兼ねて開催

2回目：12月上旬～中旬開催

⇒1月下旬開催の国際宇宙産業展に出展する場合は周知を兼ねて開催

3回目：2月上旬～中旬開催

⇒4月以降に北九州産業学術推進機構（FAIS）で公募を始める見込みの宇宙関係補助事業の事前案内を兼ねて開催

(4) 宇宙関係補助事業を行う企業や大学等への伴走支援（5～6団体程度）

北九州産業学術推進機構（FAIS）で実施している宇宙関係補助事業（宇宙関連機器新技術開発・実証支援事業、宇宙関連サービス開発・実証支援事業）を行う企業や大学等からの相談対応や、マッチング支援などの伴走支援を行う。

2カ月に1回程度、企業や大学等の課題や希望事項等についてヒアリングを行い、各団体のニーズに応じた支援を市と連携して行うこと。

その他、北九州宇宙ビジネスネットワーク会員企業の中で、製品・サービスの事業化につながる可能性が高い企業や大学等が把握できた場合は、宇宙関係補助事業の実施を問わず、伴走支援を行うこと。

(5) 展示会出展支援（2か所以上）

北九州宇宙ビジネスネットワークとして、NIHONBASHI SPACE WEEK、宇宙科学技術連合講演会、国際宇宙産業展などの国内で行われる宇宙ビジネス関連の展示会に出展し、会員企業と共同出展することで、会員企業と国内外の人工衛星・ロケット製造企業等とのビジネスマッチングの機会を設定し、ビジネスマッチングが円滑・良好に進むよう、技術的な助言、補足等のサポートを行う。（出展料の支出は本業務に含むが、同行する市職員や宇宙ビジネスネットワーク会員企業の交通費の負担は本業務に含まない。）

また、出展に当たり、北九州宇宙ビジネスネットワークや出展する会員企業を紹介するチラシ等の文案や展示する商材案などについて、市と出展する会員企業に対して助言を行うこと。併せて、展示会主催者との出展手続きについても実施すること。

なお、出展先の選定については、福岡県がビジネスマッチングイベントを展示会場で開催することを予定していることを踏まえ、同展示会場への出展を検討すること。ただし、その他の展示会にさらに出展することを妨げるものではない。

また、展示会の規模や参加者の属性、展示会出展の目的に応じて、市が認める場合は、受託者の常駐を求めないことも可能とする。

(6) 「北九州宇宙ビジネスネットワーク」事務局運営

会員企業からの問い合わせ対応や、会員企業への宇宙ビジネスに関する情報発信を行う。

<実施項目>

① 会員企業からの問い合わせ対応

○メール、Web フォームなどで会員企業からの問い合わせを受け付ける窓口を設置し、運営すること。

○受付期間は、契約締結日から令和9年3月31日までとする。

② 会員企業への定期的な情報発信（メルマガ）

○宇宙ビジネスに関する最新動向や講演会等のイベントの案内、国や県の補助金等の情報について、月1回程度配信する。

○その他、市の依頼に基づき、都度情報発信を行う。

5 成果品

- (1) 業務完了報告書
 - (2) 宇宙ビジネスネットワーク会員企業へのシーズ調査及び宇宙関連企業・大学のニーズ調査結果を踏まえた分析並びに北九州市の施策検討結果報告書
データ：Microsoft PowerPoint, Word 等編集可能なもの
- ※提出期限：(1) 令和9年3月31日まで
(2) 令和8年9月11日まで
(提出期限以降に企業への調査を行った場合や、会員企業とのマッチングを踏まえ、内容を更新したものは、令和9年3月31日までに更新版を改めて提出)

6 提出先

北九州市産業経済局未来産業推進部宇宙産業推進室

7 その他

- (1) 成果品に係る一切の権利は、北九州市に帰属するものとする。
- (2) 作成にあたって、写真、イラストなど他の刊行物からの無断転載等著作権の侵害となるような行為をしないこと。転載等を行う場合には、著作権の帰属について確認し、その利用許諾等適正な手続きを取ること。
- (3) 本仕様書に定めのない事項については、北九州市契約規則によるものとし、同規則に定めのない事項については、発注者と受注者とが協議して決定する。ただし、協議が成立しないときは、発注者の定めるところによる。